

# 「有限会社米シスト庄内」が農林水産大臣賞を受賞!!

平成19年度土地改良事業地区営農推進優良事例表彰(全国表彰)において、国営かんがい排水事業最上川下流沿岸地区の「有限会社米シスト庄内」(平成18年度東北農政局土地改良事業地区営農推進功労者表彰東北農政局長賞受賞)が農林水産大臣賞を受賞しました。米シスト庄内は山形県庄内町で独自ブランドの特別栽培米「めだかのお米」を販売するとともに、玄米のせんべい加工の他、新たにブルーベリー・イチジクの生産・加工・販売に取り組み、今後、益々の活躍が期待されます。

## ～ 東北大豆の生産性向上へむけて ～

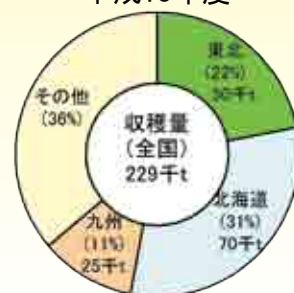
東北農政局では大豆の生産性向上へ向けた取組として、『東北の大豆シンポジウムinふくしま』(平成19年9月4日開催)や『東北地域大豆300A技術等定着推進大会』(12月12日開催)等の開催を通じ、東北地域の大豆産地の発展を図っています。ここでは、東北の大豆の現状と生産性向上へ向けた取組についてご紹介します。

### 東北大豆の現状

東北の大豆作付面積は全国の25%、収穫量は全国の22%を占める一大産地ですが、単収、品質(上位等級比率)とも全国平均より低くなっています。東北地域において安定的・持続的に大豆生産を行うためには、排水対策、土づくり、適期作業等の基本技術徹底に加え、播種後の湿害による発芽・生育不良を改善し、初期生育を確保する必要があります。

このため、東北農政局では湿害回避に効果が期待される有芯部分耕栽培、小畦立て栽培、耕うん同時畝立て栽培をはじめとする耕起・播種法について普及定着を図る取組を行っています。

平成18年度



大豆の収穫量

### 平成18年度大豆の全国と東北の比較

	大豆作付面積	10a当たり収量	収穫量	上位等級比率(1・2等比率)
全国	142,100ha	161kg	229,200t	55%
東北	35,600ha	140kg	49,700t	47%
比較(東北/全国)	<b>25%</b>	<b>0.87</b>	<b>22%</b>	<b>0.85</b>
県別				
青森県	4,100	153	6,270	55%
岩手県	4,070	128	5,210	71%
宮城県	9,800	132	12,900	52%
秋田県	7,910	170	13,400	43%
山形県	6,240	132	8,240	29%
福島県	3,520	104	3,660	44%

### 大豆300A技術等の推進

東北農政局では安定した大豆作経営の確立を目指し“大豆300A技術等”を推進しています。これは、大豆の収量300kg/10a、Aクラス品質の生産を目指すための大豆栽培技術です。具体的な栽培技術としては、湿害回避に効果が期待される有芯部分耕栽培、小畦立て栽培、耕うん同時畝立て栽培等で、地域ごとの適用条件を考慮した普及定着を図り、東北大豆の生産性向上を目指しています。

### 高品質大豆の安定生産を目指して

東北地域大豆振興協議会では『高品質大豆の安定生産を目指して』(映像)を作成し、湿害回避の耕うん機・播種方法を中心に安定多収高品質化のためのポイントを紹介しています。映像ご希望の方は、使用条件の遵守を前提に無償配布しますので、担当までご連絡ください。



〈担当〉

東北農政局  
生産経営流通部  
農産課大豆振興係  
022-263-1111  
(内線 4428)

『高品質大豆の安定生産を目指して』(映像)

\* 東北地域大豆振興協議会は東北地域における大豆の振興を図るため、実需者団体、流通・小売関係者、消費者団体、試験研究機関、行政関係機関等で構成され、事務局は東北農政局生産経営流通部農産課となっています。

また、協議会では、幅広く大豆に関する情報を提供するためホームページを開設しており、月1回のペースで、「東北豆だより」を発行しています。 <http://www.tohoku.maff.go.jp/kyougikai/daizu/tayori.html>

### 編集後記

「もえび」へのご意見等、お待ちしております。また、「もえび」は東北農政局ホームページでもご覧になれます。 <http://www.tohoku.maff.go.jp/nouson/sigenka/moebi/moebimnu.html>

表紙は、国営かんがい排水事業最上川下流沿岸地区の受益地から、初冬の鳥海山を望んだものです。

地区の水田にはたくさんの白鳥が餌を求めて飛来しています。晴れた日、うっすら雪の積もった鳥海山が田んぼにも写って、とてもきれいでした。